

令和7年度

山形県クマ市街地出没等

緊急対策モデル事業 事例集

令和8年3月

山形県 環境エネルギー部 みどり自然課

(製作:合同会社 東北野生動物保護管理センター)

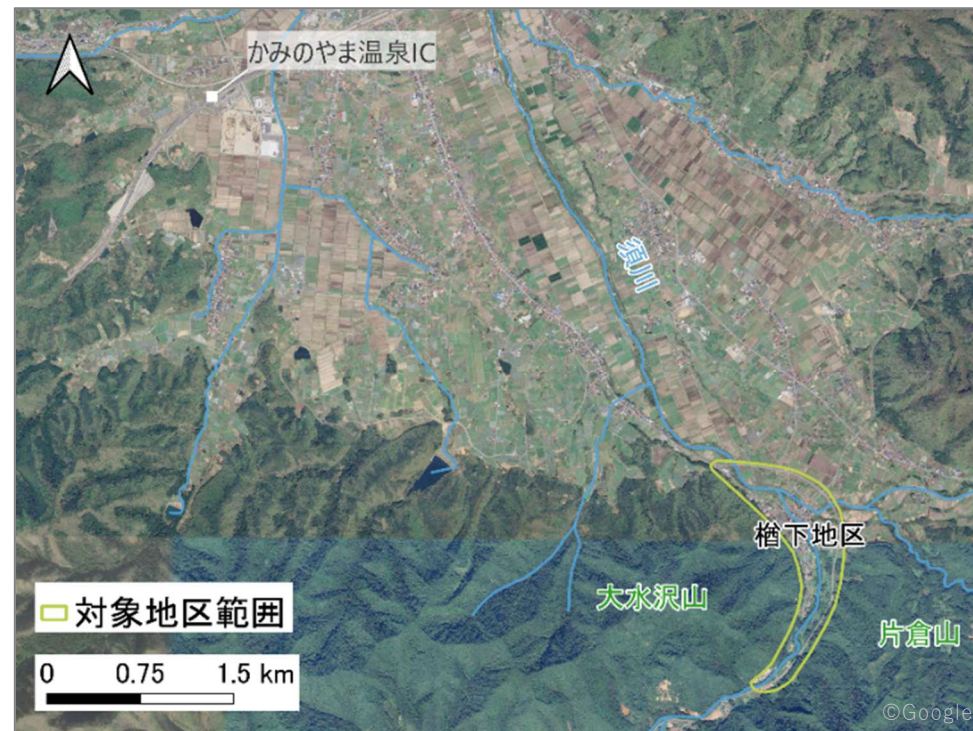
上山市檜下地区

上山市檜下地区は、上山市中南部に位置し、周囲には果樹園が多く、地区中心地に残る江戸時代の街道や建築が観光地となっている。地区周辺での目撃は3年ほど前から増加傾向にあり、9月から11月の果樹収穫期の出没が顕著である。宿場町への観光者の安全確保も含め、対策が急務とされる地区である。



地区選定のポイント

- 周辺に果樹園があり、クマが出没しやすい環境
- 観光への影響を抑えるため、対策を実施



合意形成

地区代表者、上山市、委託者及び受託者で打合せを行い、地区における課題の共有や事業内容の説明、事業の進め方などを整理した。集落点検や研修会には周辺地域の希望者も参集することとなった。

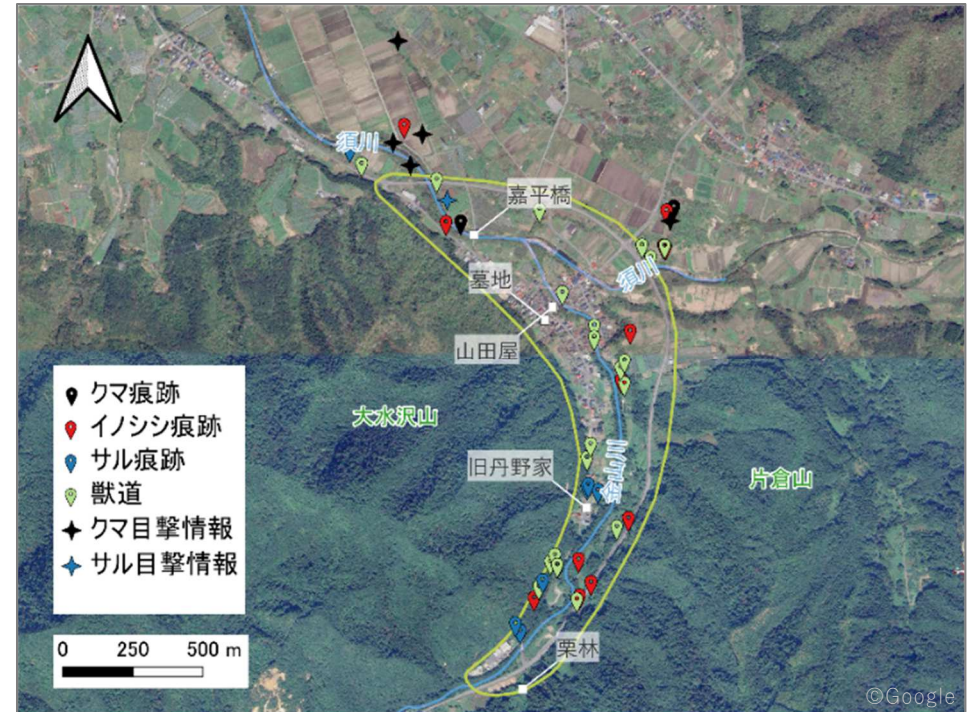
現地事前調査

地区内にある誘引物、痕跡、藪、侵入防止柵の設置状況を調査した。また、住民に会った際は、クマの出没や被害状況についてヒアリングを行った。

地区南側の栗林でクマ棚を1か所、北東部の畑でクマの足跡を1か所確認した。住民からは、北側の須川沿いでクマの目撃情報が数件寄せられた。

誘引物については、地区内及び林縁部には、竹林のほか、クリやクルミが多く、クリは165本以上、クルミは60本以上を確認した。

橋下宿周辺の竹林は下草が刈り払われ間伐もされており、よく管理されていた。ただし、一部で耕作放棄地や林縁部が藪になっており、見通しが悪い箇所があった。

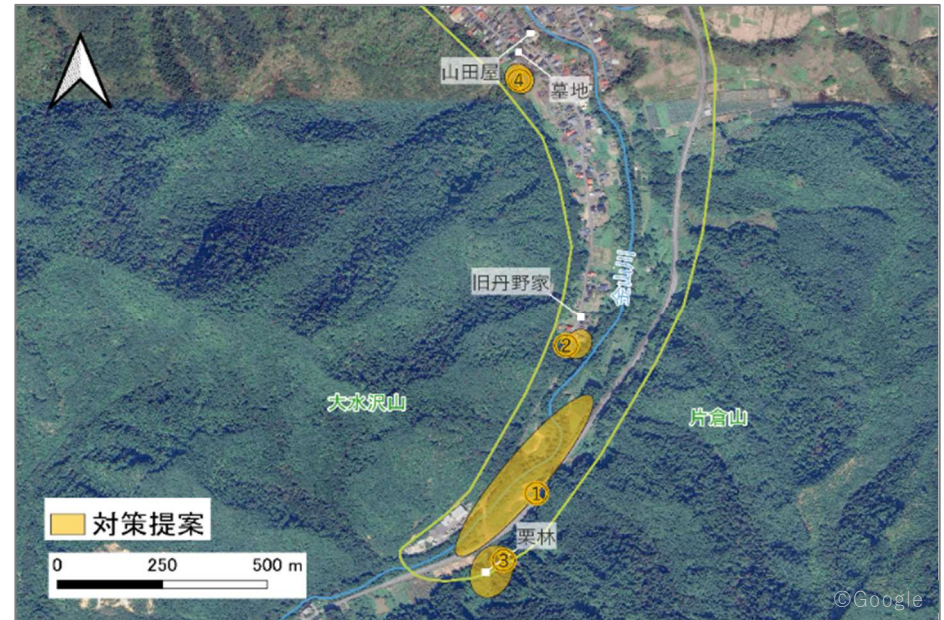


ワークショップ・集落点検・研修会

現地事前調査の結果を含む大判の地図を用意し、目撃や被害状況を地図に加筆することで集落の状況を可視化・共有した。

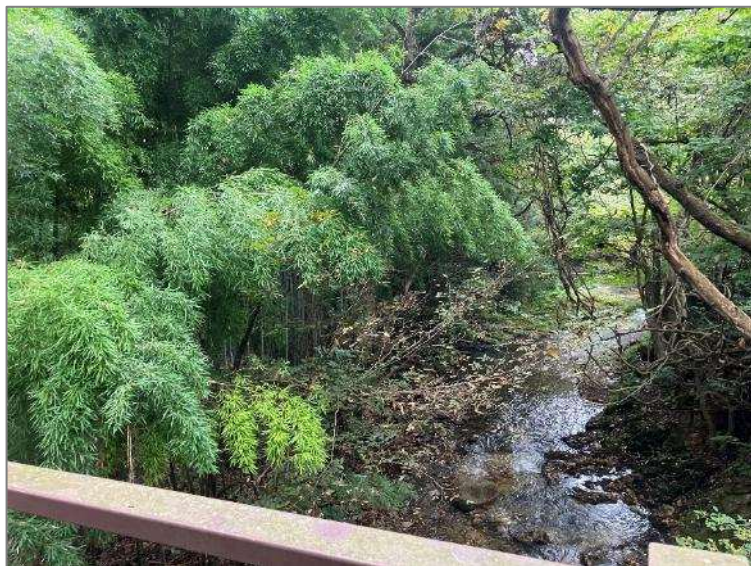
その後、事前調査で確認した出沒懸念箇所の視察を行った。今年度の対策実施地点のほか、観光地や墓地付近の藪の刈払い、使用状況に応じた栗の伐採・縮伐・トタン巻き等の対策を提案した。参加者からは「クマ棚などの痕跡の見つけ方が分かった」、「できる人が集まって藪の刈払いを続けていきたい」などの積極的な意見が聞かれた。

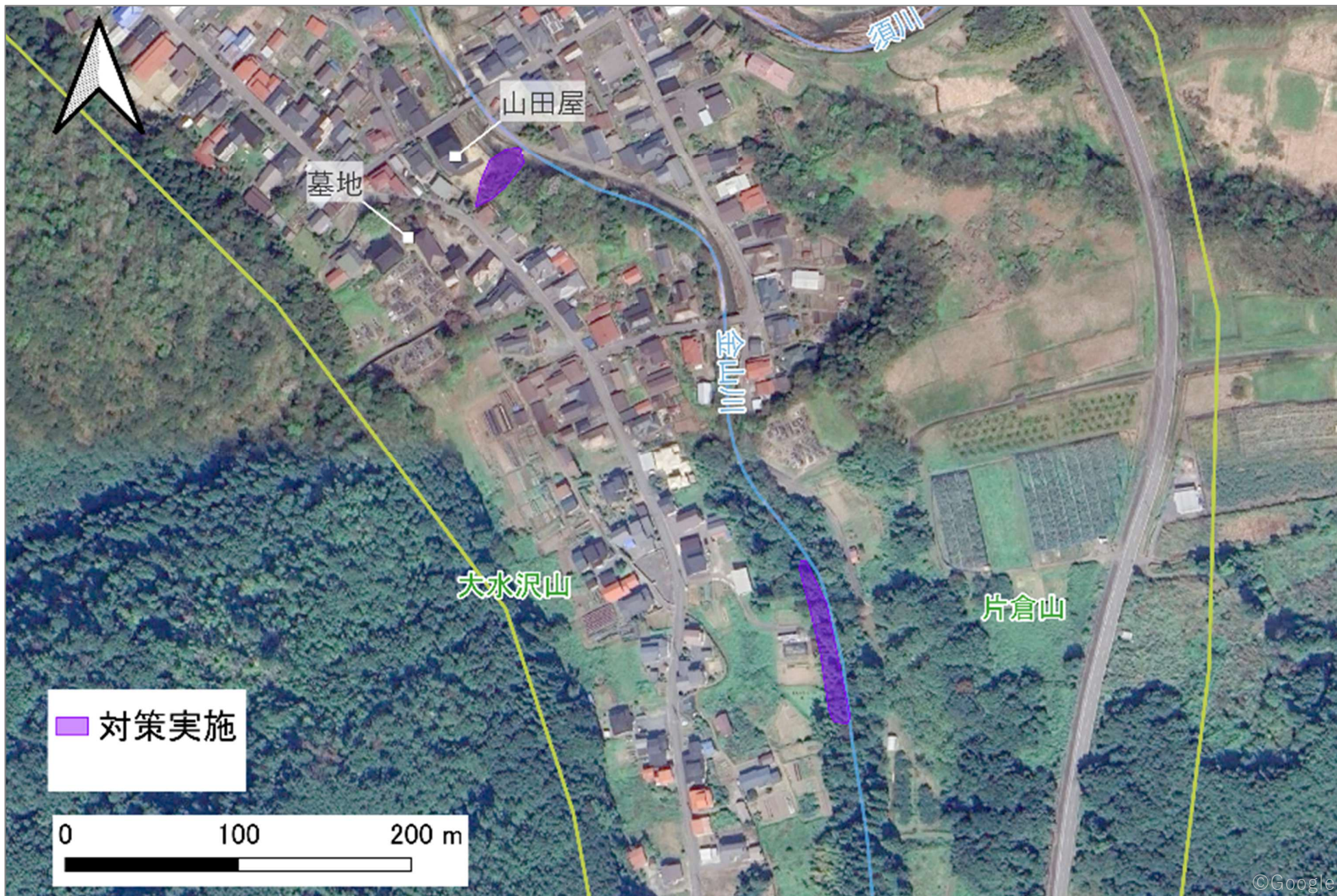
また、正しい知識の習得と、住民主体の対策を考える機会とすることを目的に、クマの生態と対策に関する座学研修会を開催した。研修会後も防護柵の張り方などの資料を求めの方が多くみられ、周辺地区の方からもご相談があるなど、対策の広がりを感じるものとなった。



対策実施

住民 11 名によって、金山川沿いの竹林伐採及び山田屋（観光用に整備された歴史建築）付近の刈払いを実施した。





■ 対策実施

0 100 200 m

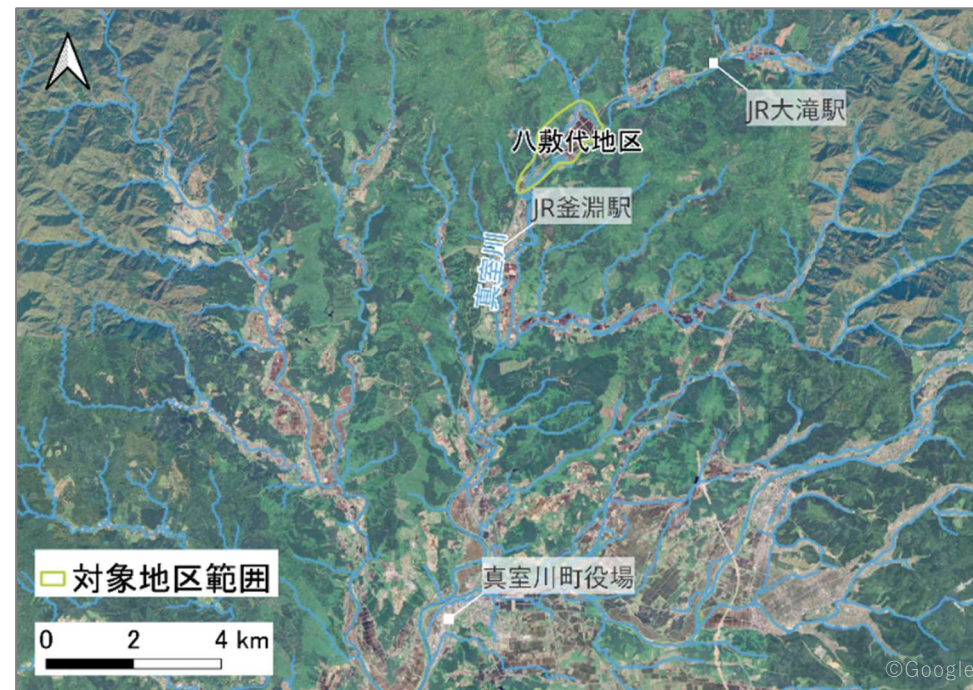
真室川町八敷代地区

真室川町八敷代地区は、真室川町北部の JR 釜淵駅と JR 大滝駅の間に位置し、地区の南側には真室川を有する。当該地区では8月に成獣2頭を捕獲したほか、近隣の釜淵集落でも目撃情報が相次いでいた。



地区選定のポイント

- 周辺でクマの出没が増加している
- 地区住民がクマ対策に関心を持っている



合意形成

地区代表者及び真室川町、受託者で、業務の実施内容や流れを説明し、クマの出没状況や、今年度の対策方針について情報を共有した。

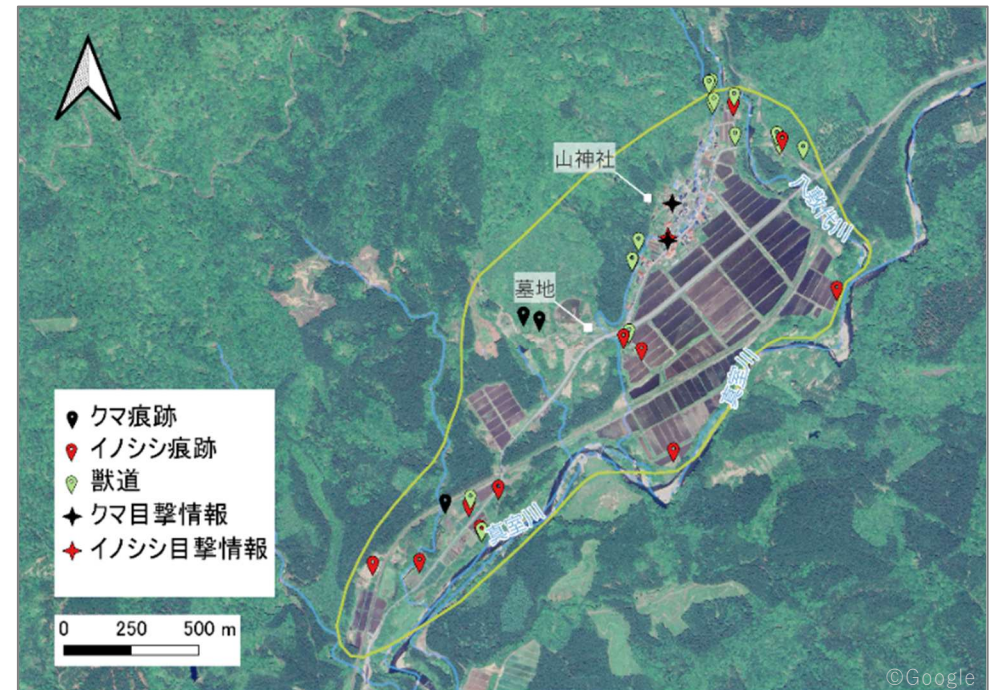
事前調査

地区内にある誘引物、痕跡、藪、侵入防止柵の設置状況を調査した。また、住民に会った際は、クマの出没や被害状況についてヒアリングを行った。

墓地やため池のある地区中央北側のサクラの木でクマの爪痕を確認したほか、南部の栗林でクマ棚を確認した。

誘引物については、川沿いを中心にクリが非常に多く、170本以上を確認した。次いでクルミも60本以上を確認した。カキは北側の民家周辺で10本程度見られた。

水田周辺は草刈りが行われ、よく管理されていた。一部で耕作放棄地や林縁部が藪になっており、見通しが悪い箇所があった。



ワークショップ・集落点検・研修会

現地事前調査の結果を含む大判の地図を用意し、目撃や被害状況を地図に加筆することで集落の状況を可視化・共有した。

その後、事前調査で確認した出没懸念箇所の視察を行った。今年度の対策実施地点のほか、人目が届きにくい公園周辺と、墓参り時にクマとの遭遇が懸念される墓地周辺の環境整備を提案した。住民からは「花見を楽しみにしているので、藪の刈払いやトタン巻きが望ましい」等、具体的な意見が多く寄せられた。

また、正しい知識の習得と、住民主体の対策を考える機会とすることを目的に、クマの生態と対策に関する座学研修会を開催した。参加者からは、「個体数は増加しているか」、「高齢化の状況下でも省力的に続けられる対策はないか」などの質問が寄せられたほか、クマ以外の鳥獣被害についても参加者の間で情報共有が行われた。



ワークショップ



集落点検



研修会



対策実施

住民 37 名によって、八敷代川沿いの雑木の伐採及び刈払いを実施した。



